

上越教育大学振興協力会事務局便り

上越教育大学からのお知らせ

○火坂雅志さんの講演会を行いました。

小説家火坂雅志さんの講演会「天地人を語る～直江兼続の愛と義」を10月17日に本学で行いました。約400人の聴衆が大河ドラマの原作者の話を知ろうと集まりました。講演の中で火坂さんは上杉謙信について紹介、大河ドラマ放映が決まったことで多忙を極めた日々のことやドラマ撮影の裏話なども盛り込まれた楽しい講演となりました。



○授業科目「海外教育（特別）研究B」の実施報告会を行いました。

9月17日（木）～30日（水）の14日間にアメリカのアイオワ大学近隣の小、中学校とニューヨーク市で実施した「海外教育（特別）研究B」の報告会が10月21日に行われました。現地の小、中学校での授業、ホームステイ、ニューヨーク市での文化研修などを行った内容や感想について、参加した学生9人が発表しました。現地の小学3年生66人を相手にした授業での苦労話、日本の教育体制との違いを感じたこと、ホームステイ先で辞書を引ながらコミュニケーションを取ったことなど留学ならではの経験が報告されました。ある学生は「留学して改めて教師という職業について考えることができた」とコメントしました。引率教員は「この経験を生かすことを考えて、やりっぱなしにしないことが重要」と締めくくりました。



○美術棟陶芸室入り口の陶板は地域の皆さんとのコラボ作品です。



陶芸室入り口は授業などで使用する資材がたくさん置いてあります。その一角に高さ1.5メートルほどのL型の壁がこのほど設置されました。それは入口や資材の風よけで、壁に正方形の陶板が張り付いています。その陶板は本学の高石次郎教授が7年前に春日小学校のPTC活動でタイル作りの指導をした時に作成された物です。6年生とその保護者によって作成された陶板は約3,000枚。ほとんどが春日小学校前の歩道のブロック塀上段に飾られましたが、その際残った陶板を高石先生が大切に保管していて、今回このような形で活用することになりました。よく見ると小さな手形や足形が残っていて手作りのあたたかみが分かります。「ただの塀だけれど無機質な感じでなく人のぬくもりが感じられればと思ったんですよ。」と高石先生がコメントされました。

○「第8回留学生と語る会」が行われました。

本学の留学生が自国の文化や言語、日本の印象などを語り、学生や職員と語りあうことを通じて国際感覚や留学生への理解を高めるための企画として10月28日に、本学で行われました。今回は台湾出身の林家靖さんが「私から見た台湾の社会～対立から融合へ～」として台湾の歴史、言語、現状について発表しました。複雑な歴史と多言語社会の現状、政治的対立から共生的社会への変化など視野の広い内容が語られました。意見交換でも活発な発言が交わされました。担当教員は「留学生と語ることでよりいろいろな考えを深めたものしてほしい」と語りました。



○越秋祭（大学祭）が盛況の内に終了しました。



今年も学生が趣向を凝らした企画を用意して行った越秋祭が10月31日、11月1日と行われ、両日併せて約2,000人が訪れました。中庭には屋台が並び野外ステージなどが繰り広げられ、校舎内でも催し物、展示などが行われ大勢の観客でにぎわいました。毎年恒例となったお笑いライブには「オリエンタルラジオ」、「渡辺直美」、「かたつむり」が来場し、500人の観客で満席になり越秋祭を盛り上げました。

○人形浄瑠璃「弘知法印御伝記」を上演しました。

11月3日、本学講堂で人形浄瑠璃「弘知法印御伝記」を上演しました。越後猿八座による3時間に及ぶ全6段の熱演に約350人の観客が拍手を送りました。越後角太夫さんの浄瑠璃は迫力だけでなく表現力豊かで、人形に命が宿ったように見えました。また長丁場の浄瑠璃を一人で弾き語る角太夫さんの姿も圧巻でした。道楽者だった主人公が弘法大師と出会い修行の末、即身仏となるまでを描いた物語に、オオカミとの決闘や龍との戦いなど奇想天外な描写もちりばめられており、楽しい内容となっていました。



○国際セミナー「のこされた人への悲しみのケア」を開催します。

11月25日（水）午前10時～12時30分まで、本学人文棟人113教室で「教育におけるグリーフ・ケア」としてトーマス・アティッグさんが講演します。トーマスさんは「死別の悲しみに向き合う」の原著者として日本でも知られていて、終末期の課題や自殺への介入など死生学全般を扱うボウリング・グリーン州立大学哲学教授です。参加費は無料、通訳がつきます。[問い合わせはファックス 025-521-3431 または tokumaru@juen.ac.jp](mailto:tokumaru@juen.ac.jp)（得丸）まで。

振興協力会からのお知らせ

○会費納入のご案内

会費納入が確認できない会員様に再度請求書を同封させていただきました。ぜひ継続したご支援を賜りたくすみやかな入金をお待ち申し上げます。

お問い合わせ先
上越教育大学振興協力会事務局

〒943-8512 上越市山屋敷町1番地
上越教育大学広報室内
電話 025-521-3626
Fax 025-521-3627
Eメール kouhou@juen.ac.jp

教育者としての「使命感」・「人間愛」・「創造力」を
有する教員の養成を目指す

 **上越教育大学**
Joetsu University of Education